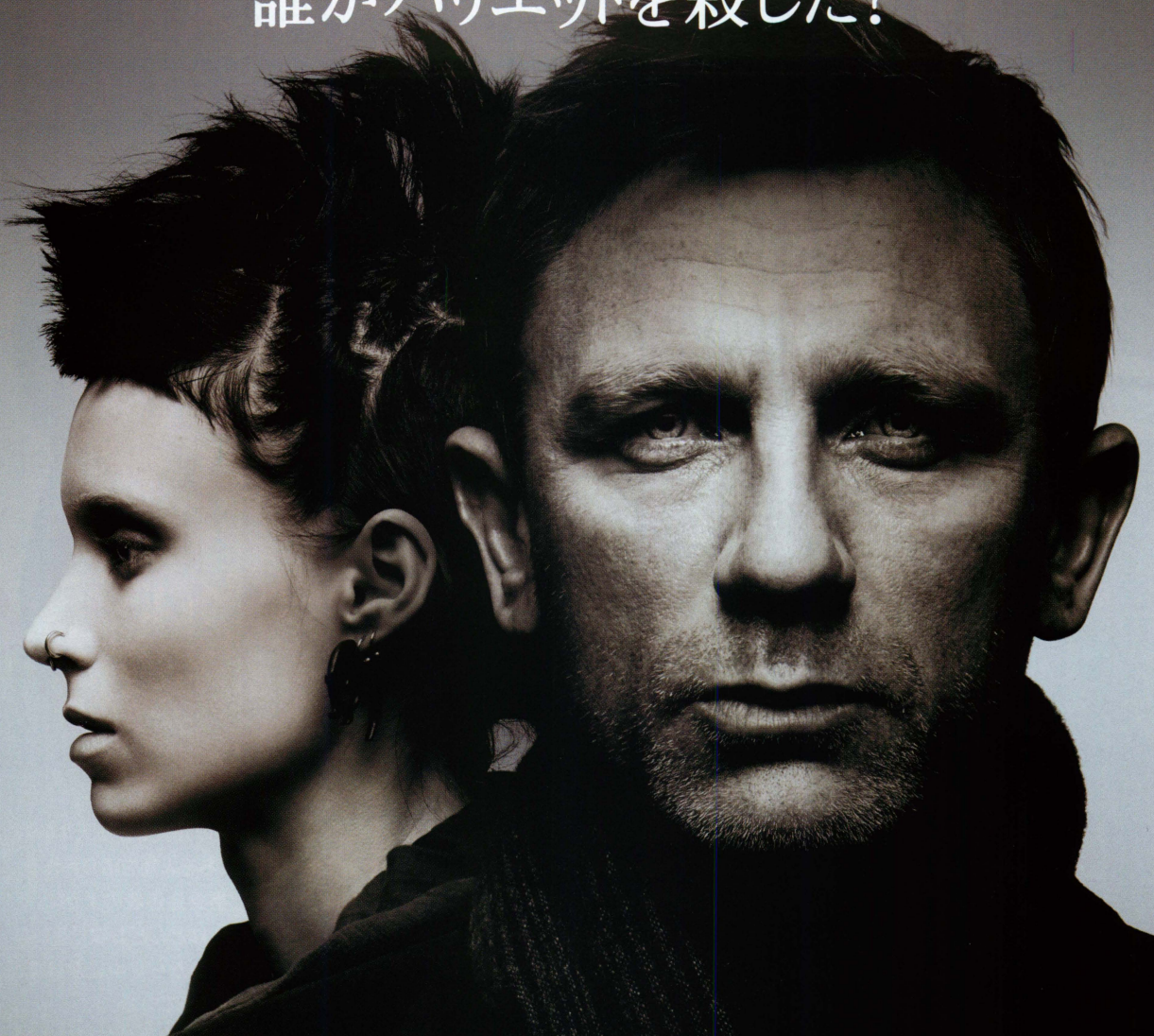


誰がハリエットを殺した？



デラッドブリュー

ダニエル・クレイグ ルーニー・マラー

# ドラゴン・タトゥーの女

衝撃の世界的ベストセラー3部作完全映画化！

COLUMBIA PICTURES and METRO-GOLDWYN-MAYER PICTURES present, A SCOTT RUDIN / YELLOW BIRD Production

DANIEL CRAIG, ROONEY MARA, "THE GIRL WITH THE DRAGON TATTOO" CHRISTOPHER PLUMMER, STELLAN SKARSGÅRD, STEVEN BERKOFF, ROBIN WRIGHT, YORICK VAN WAGENINGEN, JOELY RICHARDSON

MUSIC BY TRENT REZNER & ATTICUS ROSS. COSTUME DESIGNER TRISH SUMMERVILLE. EDITORS KIRK BAXTER, A.C.E., ANDIS WALL, A.C.E. PRODUCTION DESIGNER DONALD GRAHAM BJURT. DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY JEFF CRONENWETH, ASC.

EXECUTIVE PRODUCERS STEVEN ZAILLIAN, MIKAEL WALLÉN, ANNI FAURBY FERNÁNDEZ. BASED ON THE BOOK BY STIEG LARSSON. ORIGINALITY PUBLISHED BY NORSTEDTS. SCREENPLAY BY STEVEN ZAILLIAN

PRODUCED BY SCOTT RUDIN, OLE SONDBERG, SØREN STÆRMØSE, CEAN CHAFFIN. DIRECTED BY DAVID FINCHER



ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント配給

2012・2・10 FRI.

DRAGONTATTOO.JP



「ミレニアム」ジャーナリスト：ミカエル & “ドラゴン・タトゥーの女” リスベト

少女失踪から40年——二人が突き止めた身も凍る真実とは？

『セブン』『ソーシャル・ネットワーク』の鬼才デヴィッド・フィンチャーの最新作は、スウェーデン発の  
**世界的大ベストセラー・ミステリー。**  
 『セブン』を超えるフィンチャー・ワールドの真骨頂!

ミカエル

雑誌「ミレニアム」の敏腕ジャーナリスト、  
 名誉毀損事件で敗訴となり現在休職中

“ドラゴン・タトゥーの女” リスベット  
 アウトローで天才ハッカー

二人が突き止めた身も凍る真実とは

それは、40年前に失踪した少女の捜索依頼から始まった。

スウェーデンを揺るがせた財界汚職事件の告発記事を書きながら名誉棄損裁判で敗訴したミカエルは意気消沈の日々を送っていた。ある日、彼のもとにスウェーデン有数の財閥ヴァンゲルの元会長ヘンリック・ヴァンゲル老人から家族史編纂の依頼が舞い込む。

実はヘンリックの真の目的は40年前に起きた親族の娘ハリエット失踪事件の真相究明だった。ヴァンゲルは、ハリエットが一族の誰かに殺害されたと信じていた。

40年前に一族が住む孤島から何の痕跡も残さず消えた少女。成功の陰に隠された一族の血塗られた過去に気づくものの



手がかりの掴めないミカエルは、一族の弁護士から天才的な資料収集能力の持ち主であるとして、ある人物を紹介される。リスベットという名の、顔色が悪く、拒食症患者のように、ガ

リガりに痩せた女。ほとんどお喋りをしない小柄な彼女の肩口から背中にかけて、龍の刺青が異彩を放っていた。

意外なことに彼女はこの事件に異様な関心を示す。そして彼女はハリエットの日記に記された聖書にまつわる数字が、ロシア

の国境付近で未解決のままとなっている連続猟奇殺人事件と関連があることを突き止めるのだった…。

ミカエルとリスベット、悪だけが解き明かす悪の真実。

社会派ジャーナリスト、ミカエルを演じるのはジェームズ・ボンド役でお馴染みのダニエル・クレイグ。持ち前の渋い魅力を発揮し、正義を追求しながらも他人に心を許すことができない屈折したヒーロー像はまさにハマり役。しかし、何よりも衝撃的なのは、タイトル・ロール“ドラゴン・タトゥーの女”リスベットのキャラクターとそれを演じきった新星ルーニー・マラー(『ソーシャル・ネットワーク』)。



フィンチャーが描く新時代のダーク・ヒロインとして、映画史に記録されることは間違いない。

原作はミレニアム三部作の第一弾として2005年にスウェーデンで刊行され発売と同時に爆発的のヒットとなった衝撃のミステリー。日本では2008年に刊行され話題になったが、2011年秋早川書房から文庫化され、発売一ヶ月で20万部を越え、今また新たなブームに火がついている。

ドラゴン・タトゥーの女

DragonTattoo.jp

facebook.com/DragonTattoo.jp

twitter.com/DragonTattoo\_jp

監督：デヴィッド・フィンチャー(『セブン』『ソーシャル・ネットワーク』) 脚色：スティーヴン・ザリアン(『ハンニバル』『シンドラーのリスト』)  
 音楽：トレント・レスナー アッティカス・ロス(『ソーシャル・ネットワーク』) 出演：ダニエル・クレイグ ルーニー・マラー

非売品・転売不可



ウェブサイト <http://sonypictures.jp/>

劇場内での映画の  
 撮影・録音は拒否です  
 www.elgakan.org  
 0120-550098



金曜日は、  
 洋画へ行こう!  
[kinyobi.siga.com](http://kinyobi.siga.com)